

第160期  
上半期

株主の皆様へ

平成24年4月1日～平成24年9月30日

証券コード 5406

**KOBELCO**

お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 神戸製鋼所

早期の収益改善に向けて、総コストの見直しに  
全社一丸となって取り組むとともに、  
抜本的な体質強化に向けて検討を  
進めてまいります。

代表取締役社長

佐藤 廣 士



株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼  
申し上げます。

足下の世界経済は、欧州における金融不安や、中国をはじめと  
した新興国経済の減速傾向が長期化しており、先行きへの不透  
明感が強い状況にあります。また、国内経済に目を向けても、震  
災からの復興に伴う需要は見込まれるものの、エコカー補助金の  
終了に伴う需要減や円高の定着が予想され、当社グループに  
とっては、厳しい事業環境が継続するものと認識しております。

このような状況のもと、各事業部門でコストダウンや拡販活動  
に取り組んだものの、当社グループの第160期上半期(平成24  
年4月1日～平成24年9月30日)の連結業績につきましては、売

上高は8,585億円、営業利益は55億円、経常損益は110億円の  
損失、当期純損益は381億円の損失となりました。

当期の中間配当につきましては、中間純損益が大幅な赤字と  
なったことや、通期でも厳しい状況が続くと予想される中、見送り  
とさせていただきます。株主の皆様のご期待に沿えず申し訳ご  
ざいませぬが、事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

先に述べたように、経済情勢は大変厳しく、当社グループの早  
期の業績改善のためには、営業活動の強化だけでなく、抜本的な  
体質強化が必要となっております。現在、新たに設置した「体質強  
化委員会」を中心に、固定費の精査や調達コストの見直し、品質

失敗コスト・外部流出コストの圧縮を図るなど、「総コストの見直し」に向けての取組みを行なうことに加えて、今後の体質強化策についても検討を開始しております。財務体質の改善に向けても、投資案件の見直し、厳選を図るなど、「キャッシュフローの創出、外部負債圧縮策」も併せて検討を開始しております。また、大変厳しい状況にある鉄鋼事業部門においては、加古川、神戸製鉄所の両製鉄所での合理化投資を決定し、豪州の鉄鉱山の権益獲得の意思決定を行なうなど、鋼材製造コストの抜本的な改善計画を推進しております。これらの取組みにより、足下のコスト削減と合わせ、早期の業績回復に取り組んでまいります。

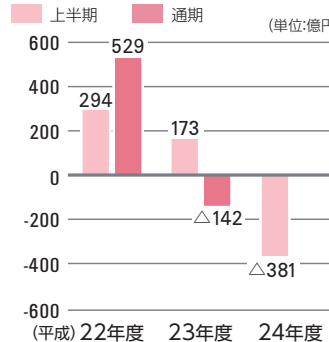
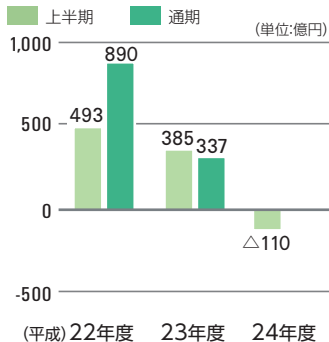
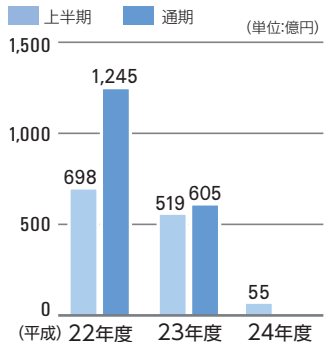
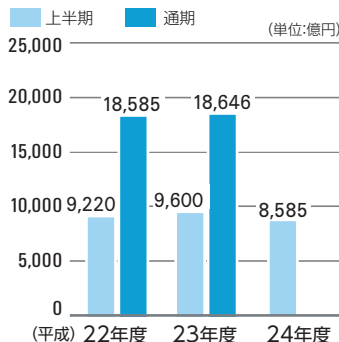
一方で、当社グループの特長は経済成長のさまざまな局面で必要とされる素材や機械、プラント技術、建設機械を提供できる

ことにあり、当社グループの中長期の成長のためには、新興国を中心とした海外市場への積極的な事業展開が必要との認識は変わっておりません。各々の投資案件の内容を厳しく精査しながら早期に収益への貢献ができるよう、一丸となって取り組んでまいります。

当社グループは、以上のような取組みを進め、業績の回復と企業価値の向上を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます。

平成24年11月

## 業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



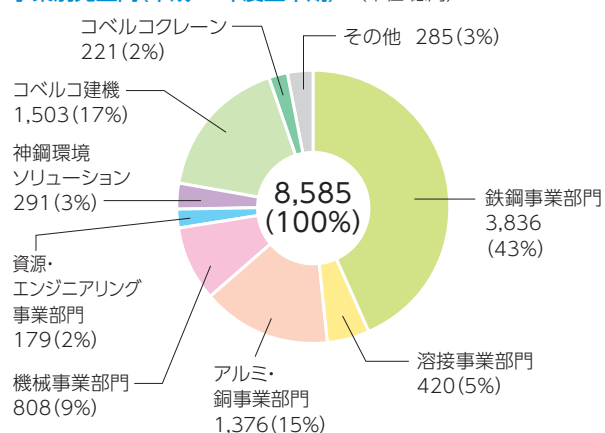
## ■当上半期の概況

当上半期のわが国経済は、震災からの復興に伴う需要の増加などを背景に、緩やかながら回復基調をたどりましたが、エコカー補助金の終了などもあり、徐々に回復のペースは鈍化しました。海外では、欧州における金融不安、中国での景気拡大鈍化、米国での景気回復のペースの減速傾向が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ圧延品の販売数量は、国内自動車向けの需要が堅調に推移したものの、鋼材海外市況の低迷や円高の影響により輸出環境が悪化したことなどから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、震災からの復興に伴い国内需要が増加し、東南アジアにおいても需要は堅調に推移したものの、主力市場である中国では大きく減少し、前年同期を下回りました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期に比べ1,015億円減収の8,585億円となり、営業利益は、前年同期に比べ464億円減益の55億円、経常損益は、前年同期に比べ495億円減益の110億円の損失となりました。また、上半期の純損益は、これらの影響に加え、投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどから、前年同期に比べ555億円減益の381億円の損失となりました。

事業別売上高(平成24年度上半期) (単位:億円)



(注) 上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額338億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額8,585億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



### 鉄鋼事業部門

3,836 億円

(前年同期比 △8.7%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要低迷、海外市況低迷、円高影響により前年同期比減
- 鋼材販売価格：海外市況低迷、主原料価格下落に伴う価格改定により前年同期比下落
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要低迷、価格下落により前年同期比減
- チタン製品売上高：海外需要減少により前年同期比減
- 経常損益：前年同期比275億円減の240億円の損失



一体型クランクシャフト(鑄鍛鋼)



### 溶接事業部門

420 億円

(前年同期比 △0.4%)



- 溶接材料販売数量：東南アジア、米国での需要が堅調に推移も、国内の造船向け需要の減少や中国での景気拡大鈍化の影響により前年同期並
- 溶接システム売上高：前年同期比若干増
- 経常利益：前年同期比10億円減の10億円



各種溶接材料



### アルミ・銅事業部門

1,376 億円

(前年同期比 △11.4%)



- アルミ圧延品販売数量：自動車向け需要は堅調も、液晶・半導体製造装置関連の需要低迷継続により前年同期比減
- アルミ鑄造品売上高：液晶・半導体製造装置関連の需要低迷継続により前年同期比減
- 銅圧延品販売数量：板条は半導体向け需要低迷、銅管も海外需要低迷により前年同期比減
- 経常利益：前年同期比56億円減の13億円



アルミボトル缶



## 機械事業部門

**808 億円**  
(前年同期比 +0.9%)



- 受注高：円高を背景に海外メーカーとの競争激化など受注環境悪化により前年同期比12.4%減の602億円
- 当期末受注残高：1,472億円
- 経常利益：円高の影響により前年同期比11億円減益の44億円



高効率・小型  
バイナリー発電システム  
[マイクロバイナリー]



## 資源・エンジニアリング 事業部門

**179 億円**  
(前年同期比 △40.8%)



- 受注高：中東向け還元鉄プラント関連の案件を受注した前年同期と比べると47.3%減の109億円
- 当期末受注残高：635億円
- 経常損益：前年同期比14億円減の8億円の損失



MIDREX®プラント(ロシア)



## 神鋼環境ソリューション

**291 億円**  
(前年同期比 △2.2%)



- 受注高：廃棄物処理関連事業で大型案件を受注も、水処理関連事業での需要減により、前年同期比5.7%減の489億円
- 当期末受注残高：624億円
- 経常利益：一部案件の採算悪化により前年同期比11億円減の3億円



播磨製作所



## コベルコ建機

**1,503 億円**  
(前年同期比 △16.5%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期比減  
〔国内〕震災復興需要により国内需要増  
〔海外〕東南アジア需要堅調推移も、中国大きく減
- 経常利益：前年同期比129億円減の56億円



20t級  
ハイブリッド油圧ショベル  
[SK200H]



## コベルコクレーン

**221 億円**  
(前年同期比 △3.6%)



- 販売台数：前年同期比増  
〔国内〕震災復興需要増  
〔海外〕北米、東南アジアを中心に海外需要が回復基調に転換
- 売上高：販売機種構成変化影響により減
- 経常損益：販売機種構成変化影響により前年同期比10億円減の8億円の損失



ラフテレーンクレーン  
[PANTHER-X250]



## その他

**285 億円**  
(前年同期比 △8.2%)



- 神鋼不動産：  
〔分譲事業〕引渡戸数が減  
〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：  
〔試験研究事業〕エレクトロニクス業界向け需要減
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比4億円減の21億円



ジークレフ加古川石守

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● 機械事業部門 ● 資源・エンジニアリング事業部門 ● コベルコ建機

## 鉄鋼事業部門

### 中国の高級ばね用鋼線の製造・販売拠点で起工式を開催



神鋼新確弾簧鋼線(佛山)有限公司  
起工式の様子

## アルミ・銅事業部門

### アルミ厚板新製品の生産・販売を開始

当社は、アルミ厚板「アルジェイド®-II」を新たに開発し、6月より生産・販売を開始しました。アルミ厚板の主な最終用途は「半導体・液晶製造装置」や「太陽電池パネル製造装置」などです。今回開発した「アルジェイド®-II」は、従来の「アルジェイド®」から、さらに精度を向上させることによって、お客様での加工歩留りを大幅に改善することができ、トータルコスト削減に貢献します。

## 資源・エンジニアリング事業部門

### ロシアでミドレックスプラントを受注

当社の100%子会社である ミドレックス テクノロジーズ, INC.(米国)がロシアのメタロインベスト社からミドレックス直接還元製鉄プラントの建設を、シーメンス社と共同で受注しました。この製鉄法は、ミドレックス社が保有する技術であり、還元鉄生産量の世界シェア約60%を占めています。

2012

(平成24年)

4月

5月

6月

7月

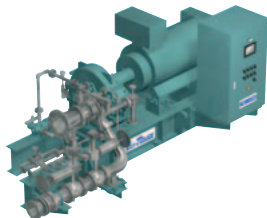
8月

9月

## 機械事業部門

### 小型の高効率ラジアルタービン発電装置を開発・販売開始

当社は、このたび様々な製造現場で発生する未利用の蒸気エネルギーを利用することが可能な高効率・小型ラジアルタービン発電装置「エコ・ラジアルGRT160e」を開発し、販売を開始しました。未利用のエネルギーの有効活用に注目が集まる中、当社は、得意とする圧縮機の技術を活用し、地熱や余剰蒸気などを利用した様々な発電機を開発してまいりました。本製品では、蒸気の持つエネルギーの幅広い分野での有効活用を目的に、汎用化および小型化を図り、低価格を実現しました。一般的な軸流タービンと比べ、発電効率が20%以上高いことが大きな特徴です。



「エコ・ラジアルGRT160e」(イメージ図)

## コベルコ建機

### 新型7t級油圧ショベルを開発

コベルコ建機は、新型7t級油圧ショベル「SK75SR」を開発し、販売を開始しました。従来から搭載されているオートアイドルストップ機能に加え、新しく「ECOモード」を搭載し、旧モデルの省エネモードよりも燃費を27%低減しています。また、本製品は、5月に稼動した広島県五日市工場の新製品第1号となりました。



「SK75SR」

当社は株主の皆様当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**神戸総合技術研究所**と**神戸製鉄所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



**開催場所:** 神戸総合技術研究所 兵庫県神戸市西区高塚台1-5-5  
神戸製鉄所 兵庫県神戸市灘区灘浜東町2

**対象者:** 平成24年9月30日現在、当社株式1,000株以上をご所有の株主様

**募集人数:** 神戸総合技術研究所 45名  
神戸製鉄所 240名(各回60名)

※募集人数には同伴者も含まれます。

## 株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時(平成25年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	神戸総合技術研究所	2月22日	13:00	16:20頃	神戸市営地下鉄西神中央駅※

申込番号	開催場所	実施日時(平成25年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
②	神戸製鉄所	3月 2日	9:00	12:40頃	JR六甲道駅※
③			13:10	16:50頃	
④		3月 3日	9:00	12:40頃	
⑤			13:10	16:50頃	

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

※株主様見学会コースは徒歩での移動となります。途中何ヶ所か階段がございます。

※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。

抽選の結果は1月下旬にご通知する予定です。

※同伴者は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。

※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合

**応募方法:** 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

(対象者の方のみ、はがきを同封しております。)

**【締切日:平成25年1月4日(金)到着有効】**

**参加費:** 無料

※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

**お問い合わせ先:** 株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係

TEL 078-261-4067

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

## これまでの開催実績(過去5回分)

	日時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第6回	平成22年11月	真岡製造所	160人	1,216通
第7回	平成23年 3月	神戸製鉄所	200人	3,935通
第8回	平成23年11月	高砂製作所	240人	2,853通
第9回	平成24年 3月	加古川製鉄所	360人	2,825通
第10回	平成24年10月	真岡製造所	240人	1,082通

# 環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

### 「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

#### —— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

## ■高効率・小型バイナリー発電システム「マイクロバイナリー」

当社では、昨年10月、地熱や工場排熱などの低温の未利用熱を利用して発電する高効率・小型バイナリー発電システム「マイクロバイナリー」を開発し販売を開始しました。100kW以下の小規模な熱源に適用できる、国産初の製品で、小型で高効率、かつ量産用にパッケージングされたコンパクト設計で低価格であることが特徴です。販売開始以来、湯布院温泉、別府温泉、小浜温泉で、合計5台の採用が決定しています。

また、このバイナリー発電システムを利用して、株式会社東芝、慶應義塾大学とともに、「風力・太陽熱・バイオマスを合わせたバイナリー発電」の実証研究を実施する予定です。異なる3つのエネルギーを合わせて利用することで、自然条件が変化しても、安定した電力と温水の供給を可能とする、再生可能エネルギー利用システムの開発をめざします。

当社は、この小型バイナリー発電システムのほか、小型蒸気

発電システムやヒートポンプなど、色々なエネルギーソリューションメニューを有しており、今後もこれらを通じて、再生可能エネルギーによる創エネや未利用エネルギーの有効活用の実現に貢献していきます。

## ■児童館出前エコ教室について

当社では、2001年度から行なってきた支援活動を深化させ、2011年度から我々自身が活動に取り組む「実働・参画型」支援活動として再スタートしました。

その支援活動の一つとして「児童館出前エコ教室」を神戸市内3箇所の児童館で開催しました。当社は、神戸市が主催する「神戸こどもエコチャレンジ21倶楽部」の設立趣旨である、未来の子供たちが、楽しみながら、遊びながら、体を動かしながら、環境保全活動の大切さを学ぶことに賛同し、2011年度からこの「出前エコ教室」を行なっています。

子供たちには、鉄の特性についてのクイズ、自分たちで電気を作る実験、などを通して、リサイクルの大切さや電気の重要性などを、楽しく理解してもらいました。

当社は、今後も児童館出前エコ教室や森林整備活動など、環境の大切さを次世代に伝えていく活動に取り組んでいきたいと考えています。





## 社会貢献への取組み

### 社会との共生

神戸製鋼グループは、未来を担う子供たちの成長をお手伝いするため、様々な活動を行なっています。

2006年度に設立した「コベルコ地域社会貢献基金」では、2012年度下期の支援先選定の準備を進めています。今年度からは、従来の当社事業所・研究所に加え、グループ会社の立地する市町にも支援対象を拡充していくことを決定しました。上期には、兵庫県・加古川市で小学生を対象とするソフトボール大会を共同開催しました。

このほか、当社の地域交流施設である灘浜サイエンススクエアでは、今年の夏休みに、多数の子供向けのイベントを開催しました。煮干しを手で解剖し、骨や内臓などを取り出し観察したり、押し花、押し葉、木の実、木の枝を使って、ネイチャークラフトを作ったりするなど、動物や植物に親しんでもらう良い機会となりました。

また、当社の高砂製作所では、子供向けの工場見学会を開催しました。巨大なプレス機や組立型クランク軸など迫力ある製品群を実際に目にすることで、ものづくりの面白さを知ってもらいきっかけになりました。



ソフトボール大会の様子

### ラグビーを通じての活動

#### ラグビーの普及活動

当社ラグビー部、神戸製鋼コベルコスティーラーズは、6月2日・3日の2日間にわたり、岩手県釜石市を訪問し、ジャパンラグ

ビー トップリーグの下部組織にあたるジャパンラグビー トップイーストリーグ所属の釜石シーウェイブスRFCと共にボランティアの清掃活動や地域住民の方と交流会、またラグビー教室を開催し、被災地支援活動を行ないました。

今回の活動は、お互いに大震災を経験したチームとして合同で復興の手助けになる事が出来ないかという想いから実現したものです。6月2日の被災地支援活動では、釜石市鶏住居町の根浜海岸周辺で両チーム、選手・スタッフ約80名が、がれきや流木の撤去や、側溝の泥を取り除く活動を行ないました。交流会では、昨年度トップリーグ開催期間中に選手全員によって集められた1点10円募金※と、スタッフ有志からの寄付金を合わせた計181,235円を「釜石市スポーツ振興基金」に寄付いたしました。また両チームのサインが入ったジャージやグッズなどが当たる抽選会を行なうなど地元住民の方々と交流を深めました。

翌3日は、釜石市陸上競技場にて、小中高生約100人を対象にしたラグビー教室を開催し、小学生はボールを使ったゲームなど、中高生にはコンタクト練習やポジションに分かれての練習を行ない、最後には両チーム混合チームと小学生とがタックルの代わりに腰に付けたタグを取るルールのタグラグビーの試合が行なわれ、終始、笑顔の絶えない楽しいラグビー教室となりました。

神戸製鋼コベルコスティーラーズは、今後もラグビーを通じ、被災地支援活動を続けてまいります。

※トップリーグ2011-2012全13試合の得点1点につき10円を選手全員で集めた募金



## 事業分野

(平成24年9月30日現在)

### 鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鑄鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

### 溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

### アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板、アルミ箔)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鑄鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

### 機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

### 資源・エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

### 神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

### コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダ

### コベルコクレーン

クローラークレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

### その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

## 連結子会社および持分法適用会社 [215社]

※印は持分法適用会社であります。(平成24年9月30日現在)

### 鉄鋼事業部門：42社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸電機株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、\*神鋼鋼線工業株式会社、\*関西熱化学株式会社、\*株式会社テザックワイヤロープ、\*プロテック コーティング CO.、\*エスアールティ オーストラリア Pty Ltd 他

### 溶接事業部門：22社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、コウベ ウェルディング オブ コリア CO.,LTD. 他

### アルミ・銅事業部門：27社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、サン・アルミニウム工業株式会社、コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ LLC、神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司、コウベ プレシジョン テクノロジー SDN.BHD. 他

### 機械事業部門：20社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、\*無錫圧縮機股份有限公司 他

### 資源・エンジニアリング事業部門：19社

ミドレックス テクノロジーズ, INC. 他

### 神鋼環境ソリューション：8社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

### コベルコ建機：36社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、タイ コベルコ コンストラクション マシナリー LTD.、\*コベルコ インターナショナル シンガポール CO.,PTE.LTD.、\*コベルコ コンストラクション マシナリー アメリカ LLC 他

### コベルコクレーン：12社

コベルコクレーン株式会社、コベルコ クレーン インディア PVT.LTD. 他

### その他：29社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコ科研、神鋼投資有限公司、コウベ スチール USA ホールディングス INC.、\*神鋼商事株式会社、\*京セラメディカル株式会社 他

(注)サン・アルミニウム工業株式会社は、本年10月1日付で連結子会社でなくなりました。

## 取締役および監査役、執行役員

※印は、各事業部門長であります。(平成24年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役)  
佐藤 廣士

### ■本社

取締役副社長(代表取締役)  
藤原 寛明

専務取締役  
川崎 博也

専務執行役員  
沖田 誠治

常務執行役員  
金子 明

常務執行役員  
花岡 正浩

常務執行役員  
藤井 晃二

執行役員  
杉崎 康昭

執行役員  
山口 貢

執行役員  
森地 高文

### ■鉄鋼事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※山口 育廣

専務執行役員  
尾上 善則

常務執行役員  
梅原 尚人

常務執行役員  
宮脇 新也

常務執行役員  
宮下 幸正

常務執行役員  
岩佐 道秀

常務執行役員  
河瀬 昌博

執行役員  
後藤 隆

執行役員  
水口 誠

執行役員  
柴田 耕一朗

### ■溶接事業部門

専務取締役  
※粕谷 強

常務執行役員  
高村 実朗

執行役員  
興石 房樹

### ■アルミ・銅事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※高橋 徹

常務執行役員  
佐藤 孝彦

執行役員  
柴田 順行

執行役員  
藤井 拓己

### ■機械事業部門

専務取締役  
※榎木 一秀

常務執行役員  
大瀨 敬織

執行役員  
松田 彰雄

### ■資源・エンジニアリング事業部門

取締役副社長(代表取締役)  
※田中 順

常務執行役員  
眞部 晶平

執行役員  
森崎 計人

### ■社外取締役

取締役  
北畑 隆生

取締役  
山内 拓男

監査役(常勤)  
大越 年祝

監査役(常勤)  
宮崎 純

監査役(社外監査役)  
佐々木 茂夫

監査役(社外監査役)  
沖本 隆史

監査役(社外監査役)  
坂井 信也

## 会社の概要

(平成24年9月30日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,333億1,324万8,065円
- 発行済株式総数 31億1,506万1,100株
- 株 主 数 232,173名
- 従 業 員 数 10,731名

## 事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜町二丁目10番26号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・  
北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・  
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)「海外」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 (鉄鋼)加古川・神戸・高砂

(溶接)藤沢・茨木・西条・福知山

(アルミ・銅)真岡・長府・大安

(機械・資源・エンジニアリング)高砂・播磨

## 神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月

基準日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日  
中間 9月30日

公告方法 電子公告

(当社ホームページをご覧ください。)

<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

### 株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

#### ①証券会社にお預けの株式について

お預けの証券会社にお問い合わせください。

#### ②証券会社にお預けでない株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

**☎ 0120-094-777**

(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)

土・日、祝日を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。



この「株主の皆様へ」は環境に配慮し、漂白のために塩素を使用しない用紙、および植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。